

スクール・ミッション

学校の存在意義・社会的役割

◎本校は、私立高校として、建学の精神に基づく学校教育を実践することにより、社会に貢献できる人材の育成を行う。

◎昭和58年の創立以来その建学の精神である

「社会から喜ばれる知識・技術を持ち、歓迎される人柄を兼ね備えた人材を育成し、英知と勤勉な国民性を高め科学技術、文化の発展に貢献する」に基づき、地域に根ざした産業教育、実務教育の充実を図ってきた。

・平成23年に、「豊かな知性と誠実な心を持ち

社会に貢献出来る人材を育成する」

に再定義された。

「社会に貢献できる人材を育成する」という教育理念を遂行するため、

「豊かな知性を持つ人材の育成」及び「誠実な心を持つ人材の育成」

を教育方針として教育活動を実践している。

具体的には、建学の精神を身近な言葉で表した『誓いの言葉』を毎朝唱和している。

誓いの言葉

私たちは父母のおかげで
勉学する機会が与えられているから
その期待にそむかず
一生に二度とこないこの時を
無駄にすることなく 勉学と修養に励み
社会から喜ばれる人間になります

この『誓いの言葉』は、父母・社会に対する**報恩感謝の念**を持ち、社会で有用な人材、21世紀を支える人材となることを表している。

その実現のために、学校生活を通じて、

校訓「**感謝 礼儀 誠実 積極 努力**」の実践と

月訓「4月高校生としての自覚 5月遵法 6月誠実 7月努力 9月礼儀

10月積極進取 11月読書 12月感謝 1月希望 2月反省」

を心掛けた教育を行っている。

①グラデュエーション・ポリシー (育成を目指す資質・能力に関する方針)

<このような生徒を育てます>

- ・ グローバルな視点で、異文化や歴史を尊重・理解し共生できる生徒を育成する。
- ・ 自ら考え、問題解決しようとする姿勢を持ち、正しく判断する能力を養い、創造的な発想や向上心を持った生徒を育成する。
- ・ 将来のなりたい自分が実現できるように努力し、夢や希望に向かい歩んでいける生徒を育成する。
- ・ S D G s に基づき持続可能な社会の実現に貢献できる生徒を育成する。

②カリキュラム・ポリシー

普通科

(教育課程の編成及び実施に関する方針)

<このような教育活動を行います>

- 英語力の向上を目指し、「聞く」「話す」「読む」「書く」の4技能をバランスよく伸ばす。
- 学業と部活動とを高いレベルで両立させ、何事にも一生懸命集中して取り組む姿勢、忍耐力、協働力、社会力等を身につけ、豊かな人間形成を図る。
- 進学に対応したカリキュラムに加え、補習授業によるきめ細かな指導で、国公立大学や難関私立大学への進学を目指す。
- 学校行事を通して自ら進んで行動することや、周囲の仲間を尊重し協働する力を身につけ、社会に貢献する精神を学ぶ。
- ICT機器を使用し、よりわかりやすい授業展開をすることにより、自ら考える動機付けをする。
- 愛知産業大学との高大連携講座やコンクールへの応募等、多様な学びの機会を積極的に取り入れ知的な好奇心を育む。

③アドミッション・ポリシー

(入学者の受け入れに関する方針)

普通科

＜このような生徒を待っています＞

- ・ 明確な目標を持ち日々の学習や部活動に積極的・意欲的に取り組むことが3年間継続できる生徒。
- ・ 基本的な生活習慣を身につけ、何事にも一生懸命に取り組む熱意があり、自ら進んで行動できる主体性のある生徒。
- ・ 積極的にコミュニケーションをとるとともに、他者のアドバイスを謙虚に聞く姿勢を持ち、様々な価値観を受け入れ、互いの人格を尊重し差別やいじめを許さない生徒。
- ・ 授業を大切にし、様々なことに興味、関心、疑問を持ち自立的に学ぶ意欲を持つ生徒。

①グラデュエーション・ポリシー (育成を目指す資質・能力に関する方針)

＜このような生徒を育てます。＞

- ・ 電気技術、電子技術、情報通信技術に関する**基礎学力**を育成する。
- ・ 電力技術、電気機器に関する**専門分野の知識**を育成する。
- ・ 周囲と協力しコミュニケーションをとりながら、**課題を克服しようとする態度**を育成する。
- ・ 資格検定試験への積極的な挑戦により、卒業後も更なる**スキルアップ**を目指そうとする態度を育成する。

②カリキュラム・ポリシー (教育課程の編成及び実施に関する方針)

＜このような教育活動を行います。＞

- ・ **専門科目**を通じて電気技術・エレクトロニクス技術や情報通信技術・電気エネルギーの発電から活用までに必要な技術や各種機器の特徴など、**基礎的な知識の習得**を図る。
- ・ **実習科目**を通じて、**実践的な技術力の向上と物事の本質を探究するための広い視野**を育てる。
- ・ **資格検定指導**を通じて、**ジュニアマイスター顕彰**および**高等学校職業教育技術顕彰**の認定証受領を目指す。

③アドミッション・ポリシー (入学者の受け入れに関する方針)

<このような生徒を待っています。>

- ・ 電気エネルギーの活用に必要な発電、変電、送電、配電などの技術に**関心のある生徒**
- ・ エレクトロニクス技術に活用される電子技術やコンピュータや通信機器に応用される情報通信技術に**関心のある生徒**
- ・ 電気、電子回路の組立や電気工作などのものづくりに**興味のある生徒**
- ・ 電気工事士をはじめとした資格検定試験や部活動および学校生活における諸活動に対し、積極的に取り組もうとする**意欲のある生徒**

①グラデュエーション・ポリシー (育成を目指す資質・能力に関する方針)

＜このような生徒を育てます。＞

◎D X (デジタルトランスフォーメーション) が推進されるこれからの社会に向けて、積極的に I T 技術を学び、豊かな知性を持ち、リーダーシップを発揮して社会に貢献できる人材を育成する。

- ・労働人口の減少を補える I C T 技術者の基礎を育成する。
- ・既成技術をより人に優しく、万人に扱えるように改善する技術者を育成する。
- ・人間の仕事をより軽減できるよう、推進していく人材を育成する。

②カリキュラム・ポリシー (教育課程の編成及び実施に関する方針)

＜このような教育活動を行います。＞

◎小中学校で活用したICT機器のアプリケーションの仕組みを理解し、将来、必要とされるプログラムを考察する。それらを作るためのプログラミング基礎知識をPC、タブレット等で学び、作成技術を発表する。グループで使い勝手、プレゼンテーション技術等を評価・改善し、より良い技術の習得を学ぶ。

- ・ 情報処理・総合実践の科目を通じて、ワープロ、表計算、データベース、プレゼンテーションを学ぶ。
その技術を応用し、効率的な作業方法を考える。 アプリケーション活用
- ・ プログラミング・課題研究の科目を通じて、人間の仕事をコンピュータ代替していく基礎を学ぶ。機械がやるべき仕事を発見し、その機械に指示を出せる能力を養成する。
- ・ 目標となる資格取得・部活動大会を設定し、PDCAサイクルを実践する。 目標達成技術

③アドミッション・ポリシー (入学者の受け入れに関する方針)

＜このような生徒を待っています。＞

- ・日本の生産効率向上をICT技術によって向上させる夢を持つ生徒。
- ・人的資産を活用するため、人間の仕事をサポートするアプリケーション開発をしたい生徒。
- ・次世代の子供達にコンピュータ技術を伝えていこうと考えている生徒。
- ・コンピュータによる生活環境向上を目指す生徒。